

アフリカ子どもの本プロジェクト(JACBOP)  
2023年度(2023.4-2024.3)活動報告

## 1、概況

2004年に設立した私たち「アフリカ子どもの本プロジェクト」は、20年という節目を迎えました。

特にコロナ禍に見舞われてからは、定例会もオンラインとなりましたが、多くの会員や協力者に支えていただきながら

- ①アフリカに設立したドリームライブラリー(現在2館)を継続的に支える
- ②識字や楽しみのための本を必要としているアフリカの子どもたちがいれば、そこに本を届ける
- ③日本の子どもたちにアフリカの文化やアフリカの子どもたちのことを伝える

という3つの活動を根気強く続けております。

①については、昨年もお報告したように、ケニア在住の稲角暢会員がふだんから両図書館と連絡を密にとり、年2回の現地訪問も行っています。定例会でもその都度その都度の詳細な報告があるので、修理についての要望などにもスピーディな対応が可能になり、また図書の購入に関してもよい方法が模索できて、日本とケニアの距離が大いに縮んだような気がしています。今年度も当プロジェクトの有志が西ケニアの両図書館委員会の方たちとズーム会議を行い、シャンダの図書館委員会が、はじめてエンザロ・ドリームライブラリーを訪問して交流をしました。両図書館からの、修理、書籍購入、ライブラリアンたちのお給料増額などについては、定例会の議題にしてできる限り対応しております。

③については、コロナ禍前の状態にはなかなか戻りませんが、鳥取県米子市(鳥取県ユニセフ協会主催)、兵庫県神戸市(AFRIKA meets KANSAI 実行委員会主催)、高知県土佐清水市(一般社団法人清水サーバー主催)、兵庫県神戸市(兵庫県国際交流協会主催)で、「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」を開催していただきました。定例会の際には、アフリカに関する新刊児童書についてもみんなで話し合っ、セットに入れるおすすめ図書を選定しています。子どもの本の専門家が集まって選定し、バナー、解題、地図なども入って、開けばすぐに図書展ができるようになっている貸出セットを用意しておりますので、開催ご希望の方は、ぜひお申し出ください。

2023年度の定例会は、オンラインで12回開き、ケニアの図書館の支援、展示セットの見直し、選書などについて話し合いをしました。新たに参加してくださった会員さんもおいでです。定例会・選書会のご報告については毎回会員の方にはメールで「プロジェクト・ニュース」を配信し、インスタグラムやフェイスブックでも、おすすめの本や定例会の様子などを随時ご紹介しています。

## 2、会員数

2022年度末の会員数は109名、2023年度末は111名でした。引き続き大勢の方に、あたたかいご支援をいただいております。

## 3、2023年度活動報告(2023.4-2024.3)

### 3-1 定例会の開催

今年度はオンライン(zoom)で12回開催しました。ケニアのドリームライブラリーの支援、選書、展示セットの入れかえ等を話し合いました。

### 3-2 ドリームライブラリー等の支援

#### 1) ケニアのドリームライブラリーについて(2023 JACBOP Photo Report 写真①)

ケニア西部のエンザロとシャンダにある2つのドリームライブラリーを支えることは、私たちのプロジェクトの3つの柱の1つです。2021年秋に会員となったケニア在住の稲角暢会員が、2022年度よりライブラリアンの給与支払いや、年2回のドリームライブラリーの訪問をおこなうなど、現地の支援者として活動し

ています。稲角会員は 2022・2023 年度はケニア・バリゴ郡に在住していましたが、2024 年度からは首都ナイロビの「日本学術振興会ナイロビ研究連絡センター」の副センター長を再度務めることとなりました。

2023 年度、稲角会員は 8 月と 12 月にドリームライブラリーを訪問しました。訪問の際には、各図書館委員会に毎回参加し、委員やライブラリアンからの要望をつぶさに聞き取り、日本側へ報告しています。2022 年以来、稲角会員の訪問時に日本側とライブラリーをオンラインで繋いで話し合いをしています。顔を見ながら挨拶を交わし合うだけでなく、月例報告や図書館委員会議事録に記載済みではあるものの、ライブラリーの問題や要望について直接声を届け合うことは、お互いの距離を縮める時間でもあったように思います。

また、訪問の際には、過去におこなった図書館の修理や改築、電気・トイレなどの工事の跡を確認したり、写真を撮影したりもしています。2023 年度、エンザロでは、屋根の雨漏り、割れた窓ガラス、窓の掛け金、破損した床の修繕をおこないました。シャンダでは、木製のドアを金属製に取り換えたほか、屋根のペンキ塗り、窓の掛け金の修理をおこない、また 2021 年以来の懸案事項でもあった、電気引き込み・設備工事も完了しました。

訪問時にはライブラリアンと共に文房具や清掃用品などの買い出しにも出かけ、12 月には、幼児室用のプラスチック・カーペットの購入もおこないました。図書については、2023 年 10・11 月にエンザロ 41 点、シャンダ 9 点の購入を手始めに、2023 年度中にエンザロ 293 点、シャンダ 255 点の購入手続きを進めました。訪問時には、新規購入をした図書について、購入冊数、および盗難・紛失の有無の確認をしています。年末の 12 月には 2022 年度と同様、ライブラリアンや図書館委員のみなさんとともに、図書館の蔵書点検をおこないました。エンザロ・ドリームライブラリーで 1962 点、シャンダ・ドリームライブラリーで 1561 点の蔵書が確認できました。2022 年度に確認された「貸出」については、禁止がかなり徹底されているようで、返却された図書についてもいくらか確認ができました。一方、盗難・紛失と思われる図書の減少もある程度見付き、引き続き今後の改善が期待されます。

この数年、ケニアでの物価上昇は激しく、ライブラリアンの生活は苦しくなっています。6～7 月にライブラリアンの要望を受けてそれぞれに 30,000 シリングを貸付け、返済は約 1 年間の無利子分割払いで給料から差し引くことになりました。また 2024 年 4 月から 2 年ぶりの給料アップを実施し、ピーターさん 15,000 シリング、アイリーンさん 13,500 シリングとすることに決定しています。加えて、医療保険の負担分 1,000 シリング、年金の雇用者負担分 540 シリング、通信データ料として 500 シリングをプラスして支払っています。ほかの支出として、両ライブラリーには、毎日の新聞購読料として日毎に 60 シリング、そのほか、新聞販売店が近くにないエンザロには、新聞配達交通費として月毎に 1,500 シリングをお渡ししています。また、教育に関する情報量の多い Education 紙の購入も始めました。月毎に 70 シリング。両ライブラリーでそれぞれ図書館委員会が開かれる際には、遠くから通ってくる委員や、仕事を休んで参加する委員もいるので、開催毎のお茶菓子代として 3,000 シリングを援助しています。現地からのレポートでは、2023 度中にエンザロ図書館では 4 回、シャンダ図書館は 3 回の図書館委員会が開催されました。

2023 年のドリームライブラリーの利用状況は、以下の通りです。

エンザロ・ドリームライブラリー 報告者：ピーター・インブーカ（ライブラリアン）

利用者別人数 (単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	371	410	459	345	296	255	275	265	258	324	351	286	3895
プライマリー 生徒	308	405	388	337	268	360	326	284	349	416	412	292	4145
セカンダリー 生徒	176	302	337	261	191	136	162	189	266	277	194	160	2651
おとな	428	515	479	406	340	371	328	387	426	256	490	384	4810
合計	1283	1632	1663	1319	1095	1122	1091	1125	1299	1273	1447	1122	15501
開館日数 (単位：日)	24	27	24	26	26	27	25	27	27	26	29	23	311

シャンダ・ドリームライブラリー 報告者：アイリーン・ナムニュ（ライブラリアン）

利用者別人数 (単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	101	52	41	77	256	284	317	188	316	189	240	158	2219
プライマリー 生徒	1260	1272	1310	1372	1205	1556	1193	1079	1185	833	611	284	13160
セカンダリー 生徒	27	150	51	42	204	308	147	180	141	89	320	115	1774
おとな	31	18	82	97	122	252	256	138	292	263	162	78	1791
合計	1419	1492	1484	1588	1787	2400	1913	1585	1934	1374	1333	635	18944
開館日数 (単位：日)	25	25	26	24	26	21	25	22	27	23	25	26	295

2004年に設立したエンザロ・ドリームライブラリーと2008年に設立したシャンダ・ドリームライブラリーは、ともに週に5日半開館しています。2024年4月末からシャンダもエンザロと同じ開館時間となります。

エンザロ・ドリームライブラリー：火曜～土曜 9:00～17:00 日曜 14:00～17:00

シャンダ・ドリームライブラリー：火曜～土曜 9:00～16:00 日曜 14:00～16:00

2) アフリカのその他の地域、団体への支援は、今年度はありませんでした。

### 3-3 アフリカのことを知らせる活動

当プロジェクトが選ぶ「アフリカに関する児童書 おすすめの本」の本等を展示できる「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」は、4箇所で開催していただくことができました。

選書会で選ばれた新しい本を加えて、展示図書を入れかえ、展示用のジャンル表示パネルを新しいデザインのものにするなど、内容を随時更新しています。

① 主催：鳥取県ユニセフ協会

会期：2023年4月1日（土）～4月14日（金）

会場：米子市児童文化センター（鳥取県米子市西町133）

② 主催：AFRIKA meets KANSAI 実行委員会

会期：2023年10月21日（土）、22日（日）

会場：こどもの本の森 神戸（兵庫県神戸市中央区加納町6-1-1）

③ 主催：一般社団法人 清水サーバ（2023 JACBOP Photo Report 写真②）

共催：土佐清水市立市民図書館（市民図書館での展示期間のみ）

会期：2024年2月2日（金）～2月11日（日）

会場：2月2日（金）～2月8日（木）土佐清水市立市民図書館 視聴覚室（高知県土佐清水市幸町4-19）

2月10日（土）～2月11日（日） 大津ギャラリー（高知県土佐清水私大津795 叶崎ぼん内）

④ 主催：公益財団法人兵庫県国際交流協会（2023 JACBOP Photo Report 写真③）

会期：2024年3月13日（水）～3月27日（水）

会場：ひょうご国際プラザ（神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 国際健康開発センタービル2F）

### 3-4 「アフリカに関する児童書 おすすめの本」の選書

・ホームページの「おすすめの本」コーナー、「おすすめの本リスト PDF」には、2024年3月までに選んだ本が入っています。

\*選書会を2023年4月～2024年3月に7回開催。

17冊検討し、5冊を「おすすめの本」に入れることになりました。

5冊の解題を分担して執筆し、ホームページにアップしました。

2023年

4月 6冊検討 おすすめの本に入れない。

5月 1冊検討 おすすめの本に入れない。

7月 4冊検討 2冊をおすすめの本に入れる。

・『ギゾギゾ～ゾンゴ沼のものがたり』エミリー・ウィリアムソンとガーナのハッサニヤ・イスラム学校の先生と生徒たち作 さくまゆみこ訳 犀の工房

・『マダガスカルのパオバブ』たくさんのふしぎ傑作集／堀内孝著 福音館書店

9月 2冊検討 1冊をおすすめの本に入れる。

・『アフリカで、バッグの会社ははじめました～寄り道多め 仲本千津の進んできた道』江口絵理著 さ・え・ら書房

2024年

1月 2冊検討 1冊をおすすめの本に入れる。もう1冊は次回再検討とする。

・『どうぞめしあがれ』佐野・ブーゼルダ・マリア原案 松田奈那子文・絵 ほるぷ出版

2月 前回の保留本を再検討 おすすめの本には入れない。

3月 2冊検討 1冊をおすすめの本に入れる。

・『アフリカのアーティスト&アーティザンと私たちがモノづくりをした話+アフリカ8つの楽しみ方』アフリカ理解プロジェクト

\*選書会で選んだ図書を、アフリカ理解プロジェクト、犀の工房、さ・え・ら書房、福音館書店、ほるぷ出版、(50音順)よりご寄贈いただきました。今後の図書展で展示させていただきます。ありがとうございました。

### 3-5 支援グッズの製作・販売

絵はがき(5枚セット)、トートバッグ、マスキングテープ、Tシャツ、『エンザロ村のかまど』スワヒリ語版、英語版等をネットで販売しています。会員にも引き続き販売しています。詳細はホームページ([http://jacop.main.jp/?page\\_id=70](http://jacop.main.jp/?page_id=70))をご覧ください。

### 3-6 ホームページの更新

今年度も、メールによるプロジェクト・ニュース配信のほか、ホームページ <http://africa-kodomo.com/>、フェイスブック(<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>)、インスタグラム([https://www.instagram.com/africa\\_kodomo/](https://www.instagram.com/africa_kodomo/))等による情報発信を行いました。

ホームページでは、「お知らせ」欄に図書展の情報を、ブログ欄に定例会やプロジェクトの動向を随時の

せています。また、ホームページの作成・更新に使っているワードプレスのバージョンアップが必要となったため、専門家に依頼し対応しました。

フェイスブックでは「いいね！」をクリックして下さった方は661名（昨年よりも79名増加）、Instagramでは210名（昨年より6名増加）のフォロワーがいます（2024年5月25日現在）。

今後も活動の様子を伝えるべく、内容を充実させていきますので、ご覧ください。

### 3-7 「プロジェクト・ニュース JACBOP NEWS」の発信

電子メールにより、定例会の報告、ケニアのドリームライブラリーの様子、図書展のお知らせ、その他を会員向けに11回発信しました。

### 4、2023年度決算報告（2023.4.1～2024.3.31）

### 5、2024年度予算（2024.4.1～2025.3.31）

#### 連絡先

アフリカ子どもの本プロジェクト

〒399-5503 長野県木曾郡大桑村長野 1517-5 さくま方

メールアドレス：amai\_3@yahoo.co.jp

ホームページ：<https://africa-kodomo.com>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>

Instagram：[https://www.instagram.com/africa\\_kodomo/](https://www.instagram.com/africa_kodomo/)